

年金引き下げ・75歳以上の医療費窓口負担2倍化反対 宣伝行動



6月1日の朝、JR和歌山駅前に各団体から16名が集まり、75歳以上の窓口負担2倍化反対の宣伝行動が行われました。早朝で人の往来が多くあり、45分ほどでチラシ入りのティッシュを1250個配り切りました。

国が今進めようとしている医療費の窓口負担2倍化については、「現役世代の負担軽減が目的」と説明されていますが、実際現役負担の軽減はわずかに月30円にしかすぎません。一方、わずかな年金で生活をしている高齢者にとっては、医療費は大きな負担であり、ただでさえコロナ感染を恐れて受診を控える人がいる中で、更に受信控えを広げてしまうおそれがあります。国は、いつでも安心して医療を受ける事ができるようすべきだと、宣伝マイクで訴えました。

★2割負担の対象者 75歳以上の課税世帯に属する全員を対象に（経団連）

介護サービス利用料も原則2割負担に（財政審建議）

2割負担になる対象者は「政令で決める」とされ、どんどん拡大される危険があります。経団連は75歳以上の課税世帯に属する945万人全員を2割負担にするよう求めています。また菅首相は公明党代表との会談で年収170万円以上（520万人）を対象とするよう主張しました。

高齢者の負担は医療費にとどまりません。財政制度等審議会は5月21日発表の建議の中で、今回の「患者負担割合の見直しを踏まえ」「介護保険サービスの利用者負担を原則2割とすることや2割負担の対象範囲の拡大を図る」ことの検討を要求しています。

★第8期介護保険料 和歌山県平均6,541円（全国平均6,014円）

太地町17.2%引き上げ 御坊市15% 日高川町13.8%

第8期介護保険料（2021年度～2023年度）が発表されました。全国平均6,014円（2.5%アップ）と6千円をこえました。和歌山県は平均6,541円でした。太地町で17.2%の引き上げ、御坊市で15%、日高川町で13.8%など県内で11市町村が保険料を引き上げました。有田市と郡内3町は据え置きで横並びになりました。保険料基準額が最も高いのは御坊市で月額7,500円。最も低いのは古座川町と北山村で月額5,500円でした。

不服審査請求（介護、国保、後期高齢者医療）書き方講習会

■日時 6月29日（火）14時30分

■場所 和歌山市教育会館3階会議室

集団不服審査請求行動が7月26日（月）に実施です。それに先立って、和歌山市社保協が書類の書き方の講習と実際に記入する会を開催します。

※持参していただく書類 今年度の保険料通知の書類 と 認印 をお持ちください。